

## 政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名	情報通信基盤の整備とIT化の推進	政策コード	Ⅲ-5	関係部局名	商工労働部、総務部、企画振興部
-----	------------------	-------	-----	-------	-----------------

### 【Ⅰ. 政策の概要】

超高速ブロードバンドサービスの提供地域や携帯電話通話エリアの拡大等による情報通信基盤の地域間格差の是正や、電子自治体の構築、県民生活における情報活用能力の向上を図る取組などを進める。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	情報通信基盤の整備促進	達成	A
2	県民生活の情報化推進	概ね達成	B

### 【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

「情報通信基盤の整備促進」では、採算面等の条件が厳しい地域において、携帯電話の不感解消を図り、地域住民の通信格差の是正に努めた。

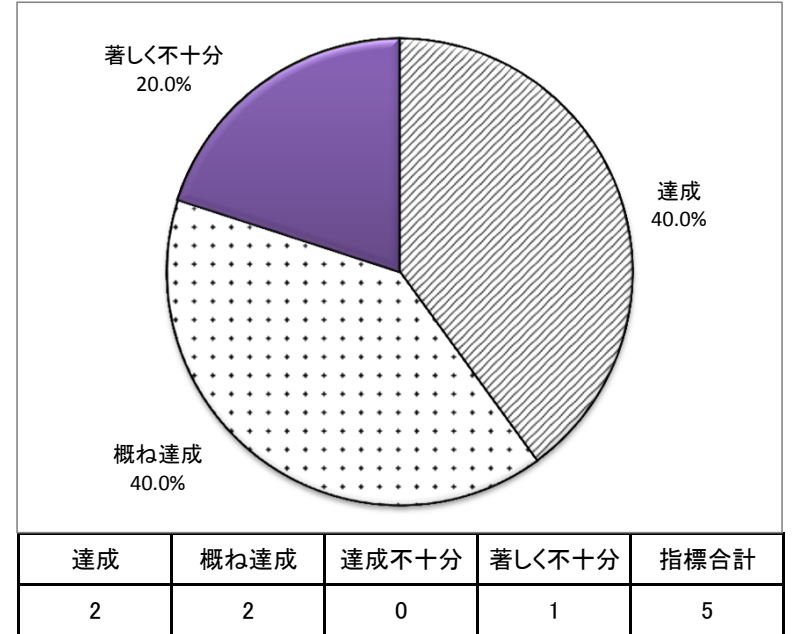
また、「県民生活の情報化推進」については、NPO等の情報ボランティアの育成やITの最新動向などをテーマとしたフォーラムを開催し県民に対する情報化の普及啓発が図れた。電子申請届出件数の割合についても、申請システムの改善などにより件数増を図り、目標を概ね達成した。一方で、「県民安全・安心メール登録者数」については、右記のとおり目標に達しなかった。

政策全体の評価としては、重点指標であるブロードバンド世帯普及率は目標値を大きく上回り、大分県内における通話エリアの拡大や県民の情報活用能力の向上を図ることができた。

今後は、進化するICTの新たな潮流を捉え、様々な分野でのイノベーション創出を支える人材の育成を図るとともに、電子申請等の情報通信システムにおいては、手続の簡素化や使い勝手の改善を継続的に実施し、行政手続きの効率化とサービスの向上を図る。

また、情報通信環境においては、災害時の緊急連絡手段等が重要な社会基盤となることから、今後も民間事業者や市町村と連携し、環境の整備を推進する。

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
県民安全・安心メール登録者数	77.0%
<b>&lt;著しく不十分となった理由&gt;</b>	
新規登録者に対する幅広い登録促進活動が不足していた。また、携帯電話会社の変更(メールアドレスの変更)による自動的な退会者も多数発生した。ただし、大分市、日田市、佐伯市においては、県民安全・安心メールと類似の独自サービスを提供しており(登録者は35,384人)、合計すると58,470人となり、実質的には目標を達成している。	